

札幌市を取り巻く財政環境と今後の見通し

1 国内の経済状況と経済財政運営

- わが国の経済状況は、コロナ禍からの経済活動の回復などによって、景気が緩やかに持ち直しており、先行きについても、ウィズコロナの新たな段階への移行が進められる中で、景気の持ち直しが期待される一方、世界的な金融引締め等による海外景気の下振れリスクや、物価上昇等について十分注意する必要がある。
- 国の「経済財政運営と改革の基本方針2022」では、ウクライナ情勢に伴う物価高騰への緊急対策により、コロナ禍からの回復を確かなものとした上で、成長と分配の好循環を早期に実現するとしている。また、新型コロナウイルス感染症対策については、医療提供体制の強化を進めるとともに、感染状況や変異株の発生動向に注意を払いつつ、段階的な見直しを行い、一日も早い社会経済活動の正常化を目指すとしている。

2 本市における財政見通し

- 札幌市の財政状況については、扶助費や公債費の増加に加えて、公共施設等の更新需要やまちのリニューアルに伴う財政需要の大幅な増加が見込まれる。また、コロナ禍からの社会経済活動の正常化が段階的に進められている一方で、原油価格・物価高騰等による市民生活への影響が懸念されるなど、依然として先行きの不透明な状況が継続している。

令和5年度予算編成方針の基本的な考え方

- 令和5年4月に市議会議員及び市長の選挙が実施される予定であるため、経常的な事務事業や、アクションプランに基づき実施している政策的な事業のうち、市政運営上切れ目なく実施する必要があるものを中心とした骨格予算として編成。
- 第2次戦略ビジョン〈戦略編〉や次期中期実施計画の策定を見据えて、第2次戦略ビジョン〈ビジョン編〉に掲げる「まちづくりの基本目標」の具体化に資する政策的な事業について積極的に実施。加えて、新型コロナウイルス感染症対策について、その影響が長期化していることを踏まえて、必要に応じて対応。
- 経常的な事務事業を効率的・効果的に実施するための見直しや、次期中期実施計画の策定に向けた事業構築にあたり、これまでの取組の効果検証などを通じた事業の廃止や見直しを促進するため、各局のマネジメントによる事業の見直しを推進するための仕組みを構築。

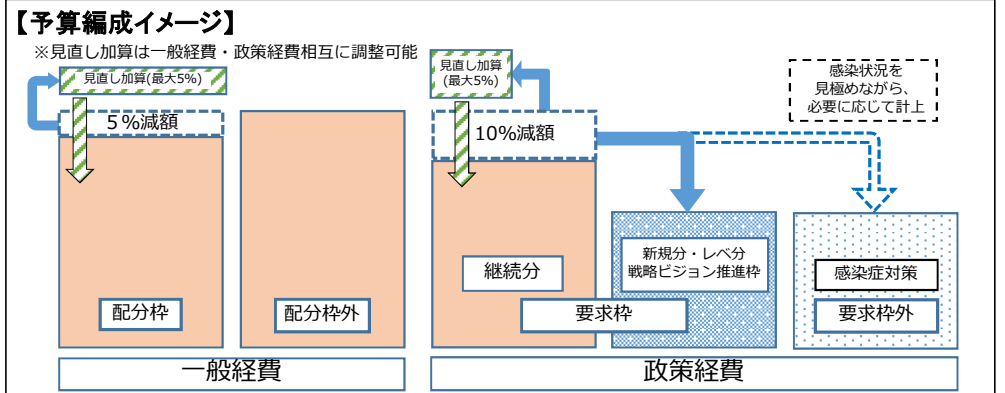
予算編成方針のポイント

1 骨格予算編成・第2次戦略ビジョン等を見据えた対応

- 例年実施している経常的な事務事業や、アクションプランに基づき実施している政策的な事業のうち、市民生活に与える影響を考慮し、市政運営上切れ目なく実施する必要がある事業を中心とした骨格予算として編成。
- 第2次戦略ビジョン〈ビジョン編〉に掲げる「まちづくりの基本目標」を具体化するための政策的な新規・レベルアップ事業のうち、令和5年度当初から実施すべきものについて「戦略ビジョン推進枠」として予算計上。新型コロナウイルス感染症対策については、感染状況を慎重に見極めつつ、必要に応じて予算を計上。

2 局マネジメントによる事業の見直しの推進

- 一般経費について、各局の経常的な事務事業の見直しを促進するため、令和4年度の局配分枠から原則として5%を減じた額を令和5年度の局配分枠とし、事業の見直し等の状況に応じた「見直し加算」を、局配分枠又は局要求枠に加算。
- 政策経費について、令和4年度から引き続き継続的な事業の見直しや再構築を図り、併せて「戦略ビジョン推進枠」等の財源を確保する観点から、令和5年度の実施を想定している政策経費の一般財源から、原則として令和4年度政策経費予算の一般財源の10%を減じた額を令和5年度の局要求枠とし、事業の見直し等の状況に応じた「見直し加算」を、局配分枠又は局要求枠に加算する。



予算編成スケジュール

- | | |
|--------------------|-------------|
| 10/ 7(金) 予算編成方針通知 | 12/下旬 市長査定 |
| 10/12(水) 予算要求書提出期限 | 1/下旬 予算記者発表 |
| 11/中旬 予算要求公開 | |